

令和5年 第5回真室川町教育委員会 会議録

令和5年8月28日（月）午後1時30分より、真室川町役場町民研修室において、令和5年第5回真室川町教育委員会を開催した。

- | | | |
|---------|-----|-------|
| 1. 出席委員 | 教育長 | 門脇 昭 |
| | 委員 | 遠田 且子 |
| | 委員 | 山田 敏一 |
| | 委員 | 鮭延三枝子 |

- | | | |
|-----------|--------|-------|
| 2. 事務局出席者 | 教育課長 | 高橋 雅之 |
| | 学校教育係 | |
| | 課長補佐 | 阿部 一彦 |
| | 生涯学習係 | |
| | 課長補佐 | 佐藤 正美 |
| | 子育て支援係 | |
| | 課長補佐 | 栗田 猛 |
| | 課長補佐 | 須田 綾子 |

3. 会議案件

日程第1 前回会議録の承認について

日程第2 教育長事務報告について

日程第3 報告

日程第4 議案第32号

令和5年度（令和4年度事業分）真室川町教育委員会事務・事業点
検評価の報告について

日程第5 その他

日程第6 閉会

4. 会議の経過

教育長 委員の定数を満たしておりますので、只今から令和5年第5回真室川町教育委員会を開催いたします。本日の案件は、日程第1から日程第6までとなっております。よろしく願いいたします。

はじめに、日程第1「前回会議録の承認について」となります。事前に資料をお配りしておりますが、訂正などはございますか。

教育長 ご承認いただいてよろしいでしょうか。

一同 はい。

教育長 承認いただきました。続いて、日程第2「教育長事務報告について」事務局から一括してお願いいたします。質問は最後をお願いいたします。

阿部補佐 (学校教育係の事務報告及び予定を一括で説明)

栗田補佐 (子育て支援係の事務報告及び予定を一括で説明)

佐藤補佐 (生涯学習係の事務報告及び予定を一括で説明)

教育長 ありがとうございます。3つの係から報告がありましたが、委員の皆様から質問等ございませんか。

遠田委員 生涯学習係の7月31日の休日部活動地域移行検討委員会について、話題になったこと、課題として出てきたことなど、大まかなところを教えてください。

佐藤補佐 会議に参加していただいたメンバーについては、現在、中学校で部活動の指導をされている外部指導者の方、スポーツ少年団の代表指導者の方、町スポーツ協会各競技団体の事務局の方で、約20名から参加していただきました。第1回の会議でしたので、新聞等でご存じの方もいらっしゃると思いますが、国や県からどういったことが求められているかなど、制度について説明しました。その中で真室川町には総合型スポーツクラブが町中心部にはないので、参加いただいた方々に、地域移行をこれから3年間かけて進めていく中で、将来的に受け皿となりえるかどうかということ、会議後にアンケートを取らせていただいています。まだ、とりまとめ中ですが、受け皿となることが可能と2団体から回答をいただいている一方で、なかなか難しいとの回答もいただいています。競技によって課題が異なる面がありますので、町としては移行可能な部分から対応していく予定です。指導者の確保、子どもの数がだんだん減ってきており、将来的には、町単独では運営が難しいといった意見もあります。指導者の資格についても競技によって異なるので、課題が多いと感じています。

山田委員 恐らく、外部指導者となると人材を確保するのが一番難しいと思います。土日の大会の時だけの指導者など、その時だけでは指導が繋がっていかないのでは、平日頃から指導していかなければならないなと思います。資格の問題も含めて、これからどのように方向性を持っていくかというのが大切だと思います。

教育長 内部検討会は昨年度から月1回の頻度で行ってききましたので、制度などについて、私たちは理解していますが、検討委員会に参加していただいた方には制度を理解していただき、どのような課題があるか共有していただいたと思います。第2回目の検討委員会は、現在、受け皿となり

うる団体を集計しておりますので、その点も含めて、今後3年間、町としての方向性にご意見いただきながら精査していきたいと思っております。非常に難しいところではありますが、一步踏み出したということでご理解いただければと思います。他にございませんか。

鮭延委員 7月24日に要保護児童対策地域協議会が開催されていますが、どのような協議の内容でしたか。

阿部補佐 要保護児童対策地域協議会は、保護者と児童の関係がうまくいっていない家庭など、「児童虐待」につながるおそれや、その傾向があるケースについて、関係機関が情報を共有し、児童や家庭への支援策を検討し、支援していくための組織になります。今回は実務者会議になりますが、対象児童の家庭への支援状況の情報共有などを行っております。様々な家庭事情から児童の人権が害されることがないように、福祉課が調整機関となり、県中央児童相談所、最上総合支庁母子保健・児童福祉担当課、新庄警察署、町教育委員会、保育施設、町民生児童委員協議会などが連絡調整を行っております。

鮭延委員 個別に対応しているものですか。

阿部補佐 それぞれの家庭のケースがありますので、その状況に合わせて個別に支援を検討しております。

教育課長 この組織は、児童福祉法に基づく組織で、関係機関を調整する役割を町福祉課が担っております。児童となりますと、保育所や学校が関係し、そこからの相談もありますので、重要な事案として教育委員会も連携を取っております。協議会については、代表者会議、実務者会議、ケース会議などがあり、各段階で連携をしながら、必要な支援を行っているところです。

教育長 子どもの問題というよりは、保護者や家庭の養育能力に問題がある場合、子どもが育つには不安要素がありますので、関係者が集まってどうアプローチしていくか改めて確認する会議になっております。

他にありませんか。

9月5日から8日まで、沖縄中部広域との少年少女交流事業が行われます。最上地区の代表40名の子ども達が沖縄県に行く予定ですが、今回、訪問団の団長が真室川小学校長になります。1月には沖縄の子ども達を迎えますので、その際の交流など受入校が真室川小学校となっています。

9月1日に山形県児童生徒版画作品展審査会がありますが、これまで長く審査員長を務めていただいた佐藤正彌先生から退任の申し出がありましたので、今年度から佐藤廣先生が審査員長となります。

教育長 他にございませんか。

一同 はい。

教育長 ありがとうございました。それでは日程第3「報告」になります。事務局からお願いします。

教育課長 (県内熱中症事故を受けた対応について説明)

教育長 ありがとうございました。熱中症について説明がありましたが、様々な対応を取っています。今までの常識がなかなか当てはまらない異常気象が続き、非常に難しい状況となっています。米沢市の女子中学生の痛ましい事故がありましたが、顧問の先生は当日早めに活動を切り上げ、水分補給、健康観察を行っていたようですが、暑さ指数計で計っていなかった点を指摘されておりました。山形十中の事案についても、大きな社会問題になっている訳ですが、報告でもありましたけれども、活動よりも生命優先という意識が大切だと思います。これまで暑さで中止という判断をしてこなかったのですが、暑さも災害という認識で対応しなければなりません。8月8日に臨時校長会を開きましたが、暑さ指数計で計測して記録すること、中止の判断を誰がするか決めておくこと等、そうしたことをしっかり確認しておくことが大事です。保育所等にも暑さ指数計を用意し、国や県の通知を周知しています。社会教育・スポーツ関係でも、スポーツ少年団、スポーツ協会に注意喚起をしております。引き続き、熱中症予防対策を徹底していきたいと思っております。このことについて質問等ございませんが。

山田委員 町民体育館には暑さ指数計が3つあり、室内、室外関わらず貸し出ししているようでした。基準をもとに判断するだけでなく、子ども達の様子をみて中止をする判断も必要だと思います。

教育長 マスクでも中止する勇気と報道していましたが、指導していかなければならないところです。ありがとうございます。他にありませんか。

熱中症以外で報告はありませんか。若干、コロナが出てきているので報告をお願いします。

教育課長 小中学校は、8月24日、25日は閉庁日でした。新庄まつりも開催されたところですが、小中学校で新型コロナ感染者が出ております。インフルエンザ感染症同様の考え方になりますので、今後も増えるようであれば、学級閉鎖などの判断もあろうかと思っております。できる限りの対策をしながら、推移をみているところです。

教育長 ありがとうございました。保育所関係で報告ありますか。

栗田補佐 保育所では、家族に感染者がいる児童が何人かおります。民間保育施設では子どもの感染が増えてきていますので、これから報告をもらうこととしています。

教育長 ありがとうございました。それでは報告についてはよろしいでしょうか。

一同 はい。

教育長 ありがとうございます。それでは日程第4に進みます。議案32号「令和5年度（令和4年度分）真室川町教育委員会事務・事業点検評価の報告について」事務局からお願いします。

教育課長 （真室川町教育委員会外部評価システムについて説明）

教育長 ありがとうございます。それでは事務・事業点検評価シートについて学校教育係から説明をお願いします。

阿部補佐 （学校教育係から事務・事業点検評価シートについて説明）

栗田補佐 （子育て支援係から事務・事業点検評価シートについて説明）

佐藤補佐 （生涯学習係から事務・事業点検評価シートについて説明）

教育長 外部評価委員のみなさんからの確に評価していただきましたが、委員の皆さんから何かご質問等ございませんか。

遠田委員 スクールカウンセラーに関わることで、子どもと面談をして気持ちを聞いて話せる場を作る、保護者の相談も対応してもらえたら、という意見がありましたが、集団とか、短い時間では十分な相談はできないと思います。本当に相談したい子はゆっくり話し合う場が必要になってくると思います。そのような場やいつでも話ができる場があることが理想と思いますが、今の状態では難しいと思われるので、その点についてどのように対応していけばいいのかなと思いました。

阿部補佐 今年度は県のスクールカウンセラー活用事業で2名配置していただいています。月の勤務日が決まっております、その中で不登校の中学生などを中心にスクールカウンセラーに対応していただいています。令和4年度については、中学校の他に小学校6年生を対象に、各小学校に赴いてレジリエンス教室を開催していただきました。今のところ、スクールカウンセラーの活用は中学校を中心に行っていますが、養護教諭と連携しながら、できるだけ個別に対応できるよう検討していきたいと思っています。

教育長 常時話せる環境があれば一番とは思いますが、スクールカウンセラーの日数も限られていますので、その中では小学校にも出向いてもらえるようになったので、大変ありがたいと思っています。

遠田委員 養護教諭と担任教員の連携で何とか気持ちをフォローできるような場づくりが必要だと思います。

教育長 スクールカウンセラーだけでは対応できませんので、全学校職員が居場所にならなければいけないことだと思います。

鮭延委員 担任の先生は毎日一緒にいるため子ども達の変化がわかると思います。スクールカウンセラーの方は上手に話を引き出してくださいますが、担任の先生方は毎日接しているので子どもも話しやすいと思いますので、先生方も気持ちを聞いて子ども達と接していただければと思います。

教育長 スクールカウンセラーの方は専門家ですので、担任の先生と情報交換して臨んでいますので、予備知識を持って対応しているというところが活きていると思います。担任は評価者であるので、意外とスクールカウンセラーや養護教諭のほうが話しやすいという側面もあるようです。

山田委員 この件に関して、いじめ防止には家族をいかに巻き込むかが必要だと思います。いじめている子もいじめられている子も当事者になればなるほど話しづらくなると思います。周りがどう気づいてあげられるかがきっかけになると思いますので、保護者をどうやって巻き込むかということ、どこかに組み入れていただきたいと思いました。

教育長 いじめアンケートを年2回実施していますが、保護者にもアンケートを取っていただいています。保護者がいじめに気づくという割合も高いので、保護者対象のアンケートを大事にしていきたいと考えています。

他のところをございませんか。

遠田委員 基本方針4の目標に対する進捗状況で、目標に対して状況の割合が低いと思いました。コロナ前と比べて、地域の行事がなくなったことが原因ではないかと思います。今後、子ども達をどう関わらせていくかが課題だと思います。「地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある」「将来の夢や目標を持っている」という項目は、学校の授業で取り上げられていることなので、ここに低い数字が出てくるのは、子ども達が学習をしながらも自覚しなかったということかと思いました。ある程度の数字は出ていますが、高い数字が出てもいいのではないのかと思いました。

教育長 この点は児童生徒の自己評価が厳しい面が影響していると思われます。また、コロナ禍という令和4年度の特異性もあったと分析しています。他にございませんか。

鮭延委員 おいしいふるさと給食とスタディツアーに関してとても評価が高いので、今後もしっかりと推し進めてほしいと思いました。

教育長 いずれも毎回、担当者が工夫して企画しており、マンネリ化はしていないと思っています。給食は担当者や調理員の方々が工夫を凝らしてくれていますが、何よりも子ども達の反応がいいからだと思います。そのようにして認めていただけるというのは大切なのかなと思います。

遠田委員 おいしいふるさと給食は、指導する側の気合が入っている印象があります。

教育長 他にございませんか。

遠田委員 特別支援教育の充実についてですが、子ども達が中学校から高校に進学して、どのような学びをどのような様子で行っているか、高校を卒業して社会人となったときに、どのような受け皿があるのか、保護者に情報が伝わっているのか、町内に受け皿となる場がどれくらいあるのか、

気になります。

教育課長
遠田委員

高校以降の進路については、追跡していないのが実情です。

保護者の方は気になることだと思います。配慮が必要な児童生徒にとってもキャリア教育は必要だと思いますので、将来の自立に向けて、学習内容や知識として提供してほしいと思います。

教育長

小学校から中学校へのつなぎでは同じ町内ですので、様々な情報を出し、個別面談で説明は十分にさせていただいています。一人一人のお子さん毎に個別の支援計画を作成していますので、それに基づいて対応できていると思っています。また、キャリアパスポートについては、高校での活かし方は把握していませんが、大切にしなければならないと思います。

他にございませんか。

山田委員

「子どもたちの安全・安心の確保」というところで、子供たちの周りには、自然災害、不審者、薬物など様々なことがあるので、自分自身で判断して回避できる能力を養っていかなければならないと思います。

教育長

子ども達には「自分の命は自分で守る」ことを指導しています。学校では安全教育の指導にはかなり力を入れています。それ以上は、社会や家庭が責任をもつことであり、学校は危険予測や回避能力を養う指導等を行っておりますので、ご理解いただければと思います。他にございませんか。

遠田委員

基本方針6の中で今後の方針の「地域人材の活用をすすめていく」とありますが、以前、読み聞かせで中学校を訪問した際、中体連期間、部活動に加入していない生徒に何をさせるかという話を聞きました。そこで地域の方々の協力を得て、何か楽しいことをさせたいと話をしていたところでした。人材について、以前は地域の人材バンクがあったはずだから見せてもらってはどうかと提案したところ、ないという話でした。現在、活動をしている方に加えて可能性のある方もピックアップしたような人材名簿があるといいのではないかと思います。

教育課長

中学校の学校運営協議会でも話題になりました。地域の方が学校に入っただけの場面で、人材バンクのようなものがあるとやりやすいという提案でした。現在、教育課にはそうした名簿はなく、活動などに合わせて、相談をいただき、紹介する形としています。

遠田委員

以前は教育委員会で作成した名簿がありました。結構な人数の情報が載っているものでした。

阿部補佐

先日、学校地域協働活動の研修会においても同様の話題がありました。個人情報のため、外部に出せないだろうと話になりました。個人でやっている方に関しては学校単位で今までのものを積み上げて名簿を作っていくしかないだろうと話をしていたところでした。学校から相談があ

れば教育委員会で人材を紹介することもできると思います。

遠田委員
教育課長

教育委員会で紹介するときの資料はどんなものになりますか。

現在、教育課に総括コーディネーターを置いていますので、その分野に詳しい各課や団体に照会し、紹介していただいたとき、調整する形になっています。今のような教育課が調整するか、教育委員会が名簿を作って学校が直接やり取りするか、方向としてはどちらかになると思います。

遠田委員

問い合わせがあったときに、もともになる資料があった方がいいと思います。そうでないと何かの団体などに所属していない人は名前が挙がりません。名簿が作成できないにしろ、情報を吸い上げていく仕組みが必要なのかなと思います。

教育長

今の件については一度預からせていただきます。現在も、相談があった際には人材を紹介できるようにしていますが、人材バンクの作成も含めて今後検討させていただきます。他にございませんか。

遠田委員

外国語については人と会った時のあいさつから話を進めることから授業で学んでいくと思いますが、日本語でそれができているのだろうかと思います。人と会った時のあいさつの仕方、話し言葉指導のようなものを学ぶ場面が学校にあるか、気になったところです。夏休み中に近所の子ども達と話す機会があり、中にはなかなか話せない子がいました。評価項目にないので、学校に任せられているのだと思いますが、項目に取り上げるのが難しいにしろ、何とかできないのかと思います。

教育長

学校の基本は授業なので、授業の中での発表のしかた、聞き取り方が基本になって、その実践の場として総合学習があり、インタビューや自分を紹介する、話を聞くといったトレーニングを積んでいくのが育ちになっていくと思います。また、学校や保育所にはカリキュラムがあるので段階的に指導はできていると思います。ただ、家庭に帰ったときにそれができているかとなるとなかなか検証することは難しいところだと思っています。他にございませんか。

遠田委員

文化に親しみ、文化を愛する環境づくりのところで、芸術文化活動に子ども達の興味を引くようなものにつながっていないかなと思いました。町芸術文化協議会の方々の活動ですが、高齢化などもあり、自力で広めていくことが難しくなっているように感じます。なんとか若い人たちにも目を向けてもらえるようにならないかなと思います。実績ある団体は、新しいことができにくいので、若い人たちが参加できるように行政から刺激を与えられないかと思います。自主運営をしなければならぬ団体なので難しいとは思いますが、活動を広げてほしいと思います。

佐藤補佐

各団体構成員の年齢層も高くなってきており、委員がおっしゃったように、これまで実績があり、そこから新しく何かを生み出すのは難しい

部分があると思います。一方で近年、ダンスなど個人で活動している方もいますが、なかなか連携となると難しいとは思いますが、対応している部分は対応できたらなと思います。

教育長 関係団体からいろいろと要望がある中で、自主運営してもらうために支援の在り方を検討しながら行っています。ただ、支援にも限界がありますので、持続可能な事業とはどういうものか、時間をいただきながら考えていきたいと思っています。

山田委員 歴史的資源の活用のところ、町の発展に歴史的なものは必須だと思うので、歴史的なものを含めてスタディツアーなどの事業を継続してほしいと思います。また、ふるさと子ども伝承祭は子どもが主役になれる場であり、子どもの成長には大切なものだと思いますので、是非継続してほしいです。

教育長 他にございますか。なければ、以上で質問等の時間を終えます。ありがとうございました。外部評価については外部評価委員会の方に意見をいただき、大変ありがたいと思っています。ご承認いただけますか。

一同 はい。

教育長 ありがとうございます。今後、議会報告、ホームページ上で公表を行ってまいります。次に、日程第5「その他」になります。事務局から何かありませんか。

佐藤補佐 現在、mamlogawakujiraの名前募集が行っておりますが、8月31日が締め切りとなっております。企画展は9月24日までですので、知り合いの方などにお声がけ願えればと思います。

教育長 ありがとうございます。他にございませんか。

一同 ありません。

教育長 それでは次回会議の提案をお願いします。

教育課長 次回は、教育委員会協議会になります。9月27日（水）9時30分からでいかがでしょうか。

一同 はい。

教育長 よろしく申し上げます。長時間にわたりありがとうございました。日程第6「閉会」になります。ありがとうございました。

一同 ありがとうございます。